

平成26年度 第20回政策推進会議報告

日 時 1月5日 9時30分～10時15分

場 所 4-1会議室

出席者 18人

1 年末年始期間中の業務状況等について

企画財政局長から報告

- ・ 業務としての出勤はなし。
- ・ 平成27年は市制99周年の年で市制100周年のプレ期間となる。市制100周年に向け、未来につながる心に残るような取組を行い、市制100周年を盛り上げていきたい。

総務局長から報告

- ・ 地域研究史料館が年末は12月28日まで、年始は1月4日から開館のため職員が出勤した。また、情報政策課の職員がホストコンピュータの稼働確認のため、1月3日出勤している。

防災担当局長から報告

- ・ 生活安全課の職員が12月28日から31日までの4日間出勤し、主要6駅を中心に尼崎市自主防犯パトロール(青パト)を実施した。昨年度の年末年始のひったくり件数は0件であったが、今年は12月29日にひったくりが1件発生している。平成26年に認知されたひったくりは149件で、昨年175件から15%の減となった。引き続き防犯活動に努めたい。
- ・ 平成27年度は防災担当局長ができて3年目になる。防災・防犯というのは事業の効果がすぐに出るものではないが、職員1人1人がプロ意識を持って自己研鑽に励むよう職員に伝えた。

資産統括局長から報告

- ・ 保全担当の警備室の業務として、12月28日から1月5日の9日間の各種届出は、死亡、婚姻、出生、戸籍等が227件、市営葬儀等の電話受付が62件であった。
- ・ 公営事業所では、12月30日まで「今年もありがとう競走」を開催しており、売上が11億7,000万円であった。外向け発売所(サンプルピア)では、12月31日に1日売上げ4,968万円という過去最高の売上げがあった。年始は1月4日からレースが開始しており、その前日の3日から職員が出勤している。
- ・ 1月1日付けで新規採用職員を1名納税課に配置していただいた。数ある課題を克服するためには職員育成が絶対必要だと考えているので、その点について局内で統一して取り組んでいきたい。

市民協働局長から報告

- ・ コールセンターへの問い合わせであるが、今年度は休みの日数が増えた分増加しており、昨年度は618件であったのに対し、今年度の全体件数は839件であった。問い合わせの主な内容は、年末年始の業務やごみ収集に関すること、国保・年金・戸籍など、生活に密着した問い合わせであった。

医務監から報告

- ・ エボラ出血熱疑似症例への対応として、昨年11月から医師1名、保健師2名、運転者1名

が保健所に待機しているが、年末年始は何もなかった。

- ・ 生活衛生業務では、食品衛生監視員が卸売市場に 29 日・30 日と出向き、重点的な監視指導を行った。
- ・ 斎場では 4 日間で大人が 68 件あった。
- ・ 7 月に尼崎・塚口統合新病院が開設されるので、これを契機にいろいろな救急体制を整備していきたい。また、いよいよ 2015 年ということで、団塊の世代が全て 75 歳以上の後期高齢者となる 2025 年まであと 10 年となった。地域包括ケアシステムの推進にしっかり取り組んでいきたい。

健康福祉局長から報告

- ・ 福祉事務所では、生活保護受給者の死亡等が 4 件あり、職員が対応している。
- ・ 3 月に介護保険条例の大きな改正がある。本市は県下で 1、2 位を争う高い保険料となっており、1 円 2 円でも下げたいと思っているが、毎回他都市を上回る保険料となっている。現在は保険料が 6,000 円を超えているが、なんとか 6,000 円を下回るようになればと思う。また、今年はいよいよ保健福祉センターの 2 所化の問題を具体化させていかなければならないと思っており、関係局の力も借りながら進めていきたい。災害時用援護者への対応など、課題は山積しているがしっかり取り組んでいきたい。

こども青少年局長から報告

- ・ 指定管理者導入施設や保育所など、特に問題はなかった。
- ・ こども・子育て支援新制度の実施に向け、国から Q & A レベルで回答や新しい考え方がどんどん出てきているので、それらをできるだけ早く吸収して 4 月以降問題なく制度を実施していきたい。今年もまだ並行して制度の見直しや変更が出てくるのではないかという懸念がある。できるだけ情報を集めて、先々進めてやっていきたい。また、利用者負担についてもきっちり説明をしていきたい。

経済環境局長から報告

- ・ 公設地方卸売市場については、年末は 30 日まで、年始は 5 日から初売式を行っており、今年トラブルもなかった。平成 25 年末に青果の卸売業者が倒産してからなんとか 1 年持ちこたえた。今年は卸売市場をどう持ち直していくのか、正念場の年だと思う。
- ・ ごみの収集についても、燃やすゴミの日が週 2 回になってから 2 回目のお正月を迎えた。週 2 回ということに対して色々な意見も出ているが、工夫しながら最も良い収集体制を取りたいと思う。
- ・ 去年は C から始める P D C A というのを局内で常々言ってきた。今年は P D C A を A から回そうと言っており、そのためにも職員がプロ意識を持ってやっていかなければならない。私もあまり部下に指示をせず、なるべく部下に委ねられるよう耐える年にしたいと思う。また、阪神大震災から 20 年となり、この 20 年で変わったことがたくさんあると思うので、どこが変わったのかを振り返りながらこの 1 年を過ごしたい。

都市整備局長から報告

- ・ 年末年始の業務としては、下水道部の 4 ポンプ場や北部浄化センターでの維持操作、また放置自転車対策の関係で定期券の販売業務等を中心に、1 日 30 人強、9 日間で延べ 288 人の職員が出勤した。

- ・ 1月1日が特に寒くなるということで道路の凍結等を心配していたが、そういったこともなく、12月29日に道路上に土砂が堆積しているとの通報があり、職員が出勤したものが1件だけであった。
- ・ 仕事に対しては前向きに人のためになるように努力すること、あるいは誠実に優しく接すること、また健康には十分注意することを職員に言っている。個人的にもだんだんとゴールが見える年齢になってきたので、悔いの残らないような仕事をしたい。

消防局長から報告

- ・ 平成26年中の火災の年間総件数は148件の過去50年余りで最低件数となっている。救急の出動件数は26,767件で前年度から950件増の過去最高となり、1日あたり約73件、20分に1回出動があるような状況だ。
- ・ 年末年始の火災発生件数は1件で、救急出動も例年と同様であった。
- ・ 地域に根ざす消防というのをかねてから掲げており、残りわずかではあるが、地域での防災訓練など、地域と顔の見える関係を作っていきたい。また、市制100周年プレ期間のスタートが消防の出初式であることもあり、士気を高めて無事に成功させたい。

水道事業管理者から報告

- ・ 年末年始の職員の出勤について、管路の維持・修繕業務は延べ37人、施設関係では、神崎浄水場は設備更新工事の監督と水質検査で延べ6人、工業用水は運転監視業務で延べ64人、その他予算編成事務等々で延べ8人がそれぞれ出勤している。
- ・ 平成28年度以降、管工事だけでなく浄水場の配水ポンプ等の更新を行う予定なので、しっかりやっていきたい。

自動車運送事業管理者から報告

- ・ 12月28日から1月4日まで日曜祝日運行とし、元旦は6時の始発時間に合わせて管理職員も出勤し出発式を行った。この間、事故は発生しなかった。
- ・ 市営バス事業の民営化まであと1年3ヶ月となり、阪神バス株式会社と円滑な移行に向けて協議を進めている。この間、職員も浮き足立つこともあるかと思うが、事故もなく運行できるようバス事業の原点に立ち返ってやっていきたい。

議会事務局長から報告

- ・ 年末火災特別警戒の激励のため、総務消防委員が市内各消防施設を巡回し、職員も同行した。
- ・ 昨年は兵庫県議会の政務活動費が話題となった。本市の場合、仕組み上もチェックもしっかり行っているため兵庫県のようなことにはならないが、情報発信についても少しでも前に進めるよう工夫したい。また、平成28年の市制100周年に向け、議会としての取組を進めるため検討委員会を立ち上げた。内容によっては予算措置が必要な場合もあるかと思うが、時機を失することのないようしっかりやっていきたい。

教育長から報告

- ・ 年末年始については、図書館や公民館、歴史資料館が年末は12月28日まで、年始は4日から開館しており、職員も出勤しているが、その間大きなトラブル等はなかった。
- ・ 平成17年度に学力向上事業に取り組み始めてからちょうど10年になる。いよいよ来年度には事業の結果を出していきたい。来年度は予算もかなりつけていただいたので、尼崎の教育の良さをアピールする年、「押し出して行く年」にしたい。

2 国民健康保険事務 全項目評価書及び

国民年金事務 全項目評価書に係る特定個人情報保護評価について

市民協働局長から資料に基づき報告。

3 後期高齢者医療事務 全項目評価書に係る特定個人情報保護評価について

市民協働局長から資料に基づき報告。

4 介護保険事務 全項目評価書に係る特定個人情報保護評価について

健康福祉局長から資料に基づき報告。

5 児童手当事務 全項目評価書に係る特定個人情報保護評価について

こども青少年局長から資料に基づき報告。

6 第2次尼崎市食育推進計画（素案）に係る市民意見公募手続きの実施について

健康福祉局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

（市長）1次計画の結果を受けて2次計画の目標を新しく設定したものもある。

特に、野菜の摂取量を増やすという取組を強く押し出している。

（市長）知識としては比較的浸透してきている感があるが、それを実践に結び付けていくためのいろいろな仕掛けがもう一步踏み込んだ改革として必要かと思う。いろいろな人に呼びかけ知識をいただきながら実践につなげていきたい。

7 その他

- ・市民協働局長から、尼崎らしいまちづくりのルールを考えるタウンミーティングについて説明。
- ・資産統括局長から、ポートルース尼崎1月・2月・3月の開催日程表について通知。

以 上